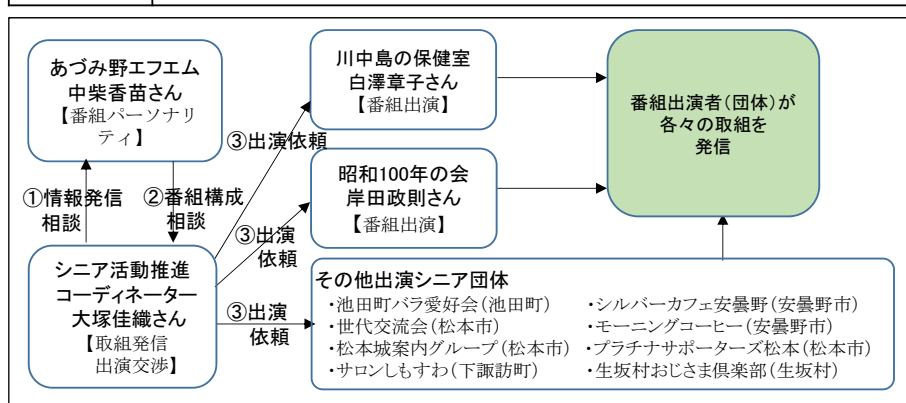


テーマ③:コミュニティFMを活用した人生二毛作の取組発信

取組概要	長寿社会開発センター発行の「人生二毛作実践事例集」に掲載された、シニアによる人生二毛作の様々な活躍を広く発信するため、あづみ野エフエムの番組に実践者自らがシリーズ出演し取組を語った。
発表者	<ul style="list-style-type: none"> あづみ野エフエムパーソナリティ 中柴香苗さん 川中島の保健室 白澤章子さん 昭和100年の会 岸田政則さん シニア活動推進コーディネーター 大塚佳織さん



1 取組の背景

- シニアによる様々な人生二毛作の取組があり、それを広く発信したい。
→長寿社会開発センターが人生二毛作実践事例集を発刊
- シニアの活動者の中には、仲間を増やし、取組をさらに発展させたいと考える方がいる。
- 松本地域振興局では、コミュニティFM(あづみ野エフエム)を活用して、県事業の発信をしている。



- ・シニアの人生二毛作の活躍を、より広く効果的に発信するにはどうすればよいか。
- ・シニアによる人生二毛作の取組に広がりを持たせるにはどうすればよいか。

2 取組を進める上での課題・対応

- 取組の発信 ⇒ 通常のプレスリリースによる発信に留まらず、コミュニティFMを活用し、シリーズ化して定期的にシニアの人生二毛作の取組を発信

3 取組の経過

- H25年頃～ 松本地域振興局(旧松本地方事務所)があづみ野エフエムを活用した県事業の発信を開始(職員の出演)
- H28年7月 大塚コーディネーターが信州ねんりんピックを広報するため、あづみ野エフエムに出演。その際、地域活動の実践者を紹介する番組があることを把握
- H29年3月 長寿社会開発センターが人生二毛作実践事例集を発刊
- H29年4月 大塚コーディネーターからあづみ野エフエムへ、上記事例集に掲載された、人生二毛作の取組の紹介を依頼
- H29年6月～ 「中柴香苗の水色の時間(とき)」の番組内「～あなたをもっと知りたくて～」のコーナーで、人生二毛作の取組紹介を開始(以降月1～2回 シニア実践者が自ら出演)



4 成果

- あづみ野エフエムは、パソコンやスマートフォンのアプリにより聴取エリア外でも聴くことができるため、県内外から「聴いたよ」の反応があり、各団体の活動を広く知ってもらうことができた。
- 放送を通じて、活動者同志の交流につながる事例が出始めている。
・世代交流会の代表者の町会の行事に、プラチナサポーターズ松本の代表者が講師として参加
- シニア自らがラジオ出演して、思いや活動を語り、パーソナリティと対話することで、より一層活動への意欲が高まっている。

5 今後の課題・見通し

- 引き続き番組内のシリーズ企画として、シニアの活動者(団体)を紹介し、人生二毛作の取組を発信する。
- 過去の放送番組をアーカイブで聴ける仕組みを利用して、活動団体や長寿社会開発センターのHPからも聴取できるようにする。
- あづみ野エフエムでは、スタジオ収録だけでなく、活動場所等での出張収録も行っており、現場での活動の様子も伝えていきたい。